競 技 注 意 事 項

愛知県中学生新人陸上競技大会

1 競技規則について

本大会は、2026年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行われる。

2 競技場の入退場について

(1)入退場は係の指示に従い、正面のゲートより入場する。競技終了後はすみやかに退場すること。

(2)付き添い・引率者・保護者はスタンドのみ入場できる。スタンドからグラウンドへは降りないこと。

3 ウォーミングアップについて

(1)ウォーミングアップとして運動公園内の通路等を使用しても良い。ただし、一般の利用者の通行などの妨げにならないように注意すること。また、競技に支障の無い範囲で、競技役員の指示にしたがい陸上競技場内のバックストレート付近を使用してもよい。(詳細は別紙参照)

(2)フィールド種目の練習は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。競技場外の投てき練習については、指定された練習場所でメディシンボールのみ使用を認める。

4 競技者の招集について

(1)招集所は、フィニッシュ付近倉庫に設ける。

(2)招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前 ※棒高跳　70分前	30分前 ※棒高跳　60分前

(3)招集の手順について

① 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受けること。その際、競技役員にアスリートビブスの確認を受ける。携帯電話や通信機器及び音楽再生機器等は持ち込めない(TR6.3.2)

② 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。

(4)リレーのオーダー用紙は招集所に用意する。オーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。(競技規則 TR24.12)

5 アスリートビブスについて

(1)アスリートビブス(ビブス)は配付されたままの大きさでユニフォームの胸・背部に確実につける。跳躍種目は、胸部または背部のみで良い。

(2)800m以上の長さのトラック種目に出場する競技者は、招集時に腰ナンバー標識を貸与する。ランニングパンツ右の上部やや後方につけること。

6 競技運営について

(1)競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。

(2)予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝は、主催者が公平に抽選し、決定する。

(3)レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンは空ける。

(4)トラック種目の記録発表は1／100秒とする。

(5)タイムによる決勝進出者の決定について、同記録(1000分の1)があり、レーン数が不足するときは、抽選を行う(競技規則TR21)該当者は、抽選を連絡するアナウンスから10分以内に本部へ集合する。

(6)400mまでのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走り、減速し止まること。逆走の場合は、フィニッシュ後も直線を走り、減速すること。

(7)本競技会は、不正スタート1回失格を適用する競技会として実施する (競技規則 TR16.8)

(8)スタートの合図は英語とする(「On Your Marks」「Set」)

(9)リレーのユニフォームについては、ユニフォームの形状を統一する必要はない。ただし、デザイン・配色（マーク）は統一すること（TR5．1 国内）

(10)リレー競技のマーカーは主催者側が用意し、審判員が配付する。なお、各チームが用意したマーカーを使用してもよい。ただし、マーカーの使用は1か所とし、各チームが用意したマーカーはそのチームで処理をすること。

(11)競技の結果または競技実施に関する抗議は、その種目の結果の正式発表後30分以内（次のラウンドが行われる競技では15分以内）に大会本部（総務員）まで申し出ること。結果のアナウンスが行われた時刻を正式発表時刻とする（競技規則 TR8.2）

7 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

	練習	1	2	3	4	5	6	7
男子走高跳	1.40/1.60	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	以降 3cm
女子走高跳	1.25/1.45	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	以降 3cm
男子棒高跳	フリー	2.00	2.20	2.40	2.60	2.70	以降 10cm	
女子棒高跳	フリー	1.80	2.00	2.20	2.40	2.50	2.60	以降 10cm

＊天候などにより、高さの変更を行う場合がある。

(1)練習の高さを2段階に設定し、希望により実施できるものとする。練習時間内であれば、競技役員の指示のもと自由に練習してよい。

(2)走高跳・棒高跳は、最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。

(3)第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cm きざみとする。

8 用器具について

(1)競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用する。ただし、棒高跳のポールに限り個人所有のものを使用することができる。

(2)フィールド競技では、主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個使用できる。走高跳のマーカーは各自でテープを準備すること。

9 表彰について

(1)各種目の第1位から第8位までに賞状を授与する。

(2)表彰式は行わないので本部前までチーム関係者が取りに来ること。

10 商標について（商標は「競技会における広告および展示物に関する規定」による）

(1)競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守ること。

①上衣 下衣 〔それぞれ〕ロゴは上下全く同じものでなければならない。

・製造会社名／ロゴ：一箇所 40 ㎠まで（高さ 5cm）

・所属団体名／ロゴ

上衣 前後 各一箇所 ＊長さは問わないが、高さは 前：5cm、後：4cm まで

下衣 一箇所 ＊長さは問わないが、高さは 5cm まで

・学校名／ロゴに関しては、上衣・下衣 大きさの規制なし

②タオル バッグ

・製造会社名／ロゴ： 一箇所 40 ㎠（高さ 5cm）まで

・所属団体名／ロゴ： 長さは問わないが高さは 5cm まで

・学校名／ロゴ：大きさの規制なし

(2)競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

11 競技用シューズの規定について

(1)スパイクピンの長さは 9mm 以内。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、9mm 四方以内でなければならない。スパイクピンの数は 11 本以内とする。

(2)使用するシューズについては、競技規則 TR5.2 を適用する。ただしフィールド競技は、競技規則 TR5.2 の適応を除外する。

(3)規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。
競技前に確認した場合は、そのシューズの使用を認めない。招集後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格の扱いとする。

12 その他

(1)記録の発表については、アナウンスで行う。記録速報のQRコードでも確認できる。
QRコードは、愛知陸上競技協会のHP等で確認できる。
なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時刻とする。

(2)チームの待機場所は、運動公園内の指定された場所のみとする。

(3)救護本部は陸上競技場内1F 医務室に設置する。

(4)清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任もって行い、環境美化に努める。

(5)氏名・所属等の訂正は、本部に申し出る。

(6)貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。

(7)本競技会において8位までの入賞者は、次年度の全日本中学校通信陸上競技愛知県大会に出場できる資格を得ることとする。ただし400m、3000m、4×100mR は除く。

アスリートへの盗撮は、犯罪です。愛知陸上競技協会主催の大会では、撮影対象となる選手の家族や選手本人の了解がある場合を除き、写真や動画の撮影を禁止しています。禁止行為を発見した場合、ただちに警察へ通報します。また役員や警備員が会場内外の巡回を行っています。撮影している方には、声をかけて確認を行う場合があります。ご理解とご協力をお願いします。